

平成26年10月29日
関西広域連合本部事務局

在日米国商工会議所（ACCJ）とのパネルディスカッションの実施結果について ～テーマ：「女性の更なる活躍に向けて」～

1 実施日時

平成26年10月17日（金）午後5時～午後6時40分

2 場 所

神戸ポートピアホテル 本館地下1階「偕楽の間」

3 出席者（パネリスト）

（関西広域連合）

井戸 敏三（広域連合長・兵庫県知事）
平井 伸治（鳥取県知事）
狭間 恵三子（堺市副市長）
鳥居 聡（神戸市副市長）

（ACCJ）

田中 亜希（北浜法律事務所・外国法共同事業パートナー）
北野 美英（日本イーライリリー（株）広報・CSR部統括部長）
古山 陽子（プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン（株）執行役員 アソシエート・ディレクター リーガル&ガバメント・リレーションズ）

4 パネルディスカッションの概要

「女性の更なる活躍に向けて」をテーマに、ACCJ側からは柔軟で多様な働き方を実現するための制度整備を求める提案や行政に対する期待等について、広域連合のパネリストからは、広域連合や地元自治体を目指す方向性、取組について意見を述べ合い、今後の女性の更なる社会参画と、関西経済の成長を目指し、取り組んでいくことを確認した。

<パネリストの主な発言骨子>

（田中 北浜法律事務所・外国法共同事業パートナー）

・女性の活躍促進のためには、労働時間・場所にとらわれないフレキシブルな働き方を認めることが大切である。そのためには、法的な枠組みの整備と、成果主義に基づいてきちんと評価する制度が整っていないとではない。

（北野 日本イーライリリー（株）広報・CSR部統括部長）

・関西でフレキシブルな働き方が可能となるような制度を整えることにより、さらなる魅力で、より多くの企業を誘致できるのではないかと思う。ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。

(古山 プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン (株) 執行役員)

・このような制度整備は政府の問題であるとは理解しているが、今後機会があれば、特区制度等を活用していただくなど、関西から積極的に対応していただき、それを良いモデルとして全国に普及できればいいと思う。広域連合からも政府に対して一緒に働きかけていただきたい。

(井戸 広域連合長・兵庫県知事)

・女性の管理職登用ということについては、キャリア形成のコースを確立し、女性のキャリアアップをしていくことも必要である。

・「ひょうご仕事と生活センター」というのを設立し、仕事のやり方を変えていくことによりメリットのあった実例を整理して会社に働きかける等、仕事と生活のバランスの推進に取り組んでいる。女性の社会参画のためには、働き方を変えていくことと、女性が仕事をしていても子育てに困らない環境を整備することが大切である。さらに努力していきたい。

(平井 鳥取県知事)

・女性管理職の登用は、最後はトップの決断が大事であり、結局これはリーダーシップの問題かと思う。女性にも公平に、その進出のチャンスを与えることが必要である。

・「森のようちえん」という、森の中で子供を育てるシステムを鳥取県で支援したら、海外からの移住があった。また、中山間地における保育料の無償化事業を始めたら、ある町で移住が増えた。子育て環境を整えたり女性の社会進出の基盤を整えることは、社会的にもメリットがある。

(狭間 堺市副市長)

・堺市では仕事と子育ての両立について、中小企業にどのような支援が必要かヒアリングを行っている。フレキシブルな働き方は、女性だけでなく、男性や高齢者、障がいのある人にとっても多様な働き方が選択できる点で重要である。

・育児だけでなく、男女がともに、結婚・子育て・介護などのライフステージごとに切れ目なくキャリアを積み重ねていける職場環境づくりが必要と考えている。

(鳥居 神戸市副市長)

・中小企業がそれぞれで個々に研修を行うことは難しいため、市内の中小企業の女性を対象に、将来のリーダーの育成を目指した研修を行政で取り組んでいる。

・仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所の表彰や、女子学生と企業で働く女性の情報交換会の開催なども行っている。